

兵庫県立大学附属中学突破カリキュラム

入試データ

適性検査

作文

対策の特徴

◎ 年間スケジュール

	第1ターム	第2ターム	第3ターム	第4ターム
学校行事	期末テスト 三者面談			
トライ対策スケジュール	小学校内容の習得 小4のまとめ(全17回)、 小5のまとめ(全38回)、 小6のまとめ(全37回)	適性検査対策 アインストーン小5×20 回 理系×20 合計40 回 アインストーン小 6×20回 理系×20回 合計40回(全80回)	作文対策 90分×10回(題材は 過去問とスフィンクス) 全10回	実践力養成 〈兵庫県立大学附属中学の過去問 を使用〉適性検査：120分×8 回(4年分)、作文：120分× 4回(4年分)これらに加え、ス フィンクスに搭載されている他校の 過去問も演習120分×10回 (全12回)
		三者面談 志望校相談	三者面談 志望校相談	三者面談 公立判定診
ポイント		適性検査は問題数が過去3年は9 ～10問となっており、試験時間 から考えると1問あたり5分前後 での解答が必要。自分の考えを即 座にまとめる訓練が必要。	作文は、例年400字から600 字の字数制限となります。原稿用 紙にして1枚から1枚半の文章を 各訓練、自分の考えを文章表現で きる訓練が必要。	過去問の問題例 算数系統：「いろいろな四角形について考えよう」 理科的読解：「野菜作りから考えよう」 社会的読解「日本の食糧と世界の水についてあなたが 考えたり思ったりしたことを書きなさい。」

◎ こういう生徒にお勧め！

兵庫県立大学附属中学受験を考えている方。
塾の対策は私立中に偏っているため、県立中の対策を取りたい方。
適性検査対策を通じて、学習の本質や深い思考力を養いたい方。
作文を通じて読解力や表現力を養いたい方。

物事全般にわたり、「考える癖」を付けたい方。

◎ 対象エリア

対象学年：小学4年～6年生

対応地域：兵庫県

指導期間：短期講習型・長期講習型から選べます。

◎ 対策の特徴

特徴1

FAX家庭教師にて作文対策可能！

特徴2

テキストは適性試験で試される発想力・頭の柔軟性を鍛えるために
アインストーンスフィンクスを使用！

特徴3

入試直前の面接対策も可能です！

対応教師

小学校内容の習得：ベーシックからセレクトC

適正・作文・実践力養成：セレクトC以上～セレクトA

◎Data Mining

入試データ	平成23年度入試合格状況 募集人数40人、受験者数(男90人、女102人)、合格者数(男17人、女23人)
傾向と対策	適性検査(平成23年度 大問4、総問題数9、算数系統3、理科的読解3、社会的読解3) ここ3カ年は問題数が、9～10問となっており、試験時間から考えると1問あたり5分前後での解答が必要となる。全て記述式となるため、自分の考え方を即座に文章にまとめる訓練が必要となる。
適正検査	《算数系統》特殊算などいわゆる中学受験の知識は不要。小学校の教科書に沿った内容である。円や図形、量などをテーマにしたものが多い。最終の答えだけでなく、プロセスの記述も求められ、発想力を試す問題も多い。 《理科的読解》自然や動植物をテーマにしたものが中心だが、酸性雨と野菜作りの関係など時事的な要素は常に含まれると考えてよい。 《社会的読解》過去4年間の傾向として人口問題、農業、地球温暖化が取り上げられている。理解上に時事的要素が濃いので日々のニュースが学習の良い教材になる。
作文	例年「あなたが考えたこと」、「あなたの経験から」というように、指定される設問は文章を読み解くことができることを前提にして単なる読解力を試す問題ではなく、自分の意見を言葉に表す「表現力」の問題であることが伺えます。漢字や句読点、文法など基本的事項の確認は当たり前として、作文が単に要約になっていないか、自分の意見、意思、主張が客観的に見て公平・適正であるように対策が必要である。
試験科目	適性検査50分、作文40分、面接(グループ面接) *全県受験可能